

森と緑の会だより

春号
2024

【表紙写真】

アジロ自然の森 ツリーハウス完成

高知市のアジロ自然の森にて、老朽化したツリーハウスをリニューアルしました。7月にボランティアが丸太や資材を運び、8月から10月にかけて、解体から組み立てまでの作業を9回、のべ145名が参加して完成させました。

(緑と水の森林ファンド都道府県事業)



「緑の募金」による植樹活動

毎年秋に募集する苗木支援や交付金、当会支部が実施する植樹事業等で、令和5年度は県内 115 カ所に 2,542 本の苗木が植樹されました。

★ 植樹事業
☆ 苗木支援
※数字は本数



11月5日(日)

仁淀川流域山林保全育成の会

緑の募金公募事業によりいの町上八川の皆伐跡地に市町村関係者や一般参加者 64 名がクヌギなどの広葉樹 800 本を植樹しました。



1月20日(土)

高知県立春野総合運動公園

高知北ライオンズクラブからの寄付により、ヤマザクラ 5 本を体育館横の斜面に植樹しました。



3月1日(金)

大豊町西峯三谷地区

大豊町西峯三谷地区の景観整備のために、地元住民がハナモモ 30 本を植樹しました。



森の教室は、子どもたちに森林が持つさまざまな役割やその大切さを伝えるために始まった全国巡回型のプロジェクトで、ファミリーマートの店頭募金「夢の掛け橋募金」により行われています。令和5年度は、高知県では梶原町1園と仁淀川町4園の園児185名が参加して森の教室を開催しました。

森のお姉さんや緑の募金のキャラクター「どんぐりくん」、森づくりのためにつくられたAIロボット「ふぁみたん」たちのキャラバン隊が登場すると子どもたちは大喜び。約1時間30分のプログラムで森について学びました。



動物の足跡や鳴き声で森の仲間たちを当てるクイズでは、「くま！しか！」と子どもたちは元気に答えました。

森の楽しさを伝え、学ぶ ～森づくりのキャラクターショー～

大きな絵本を使って、森のお姉さんとキャラクターたちが身振り、手振りを交えながら、「木が育つために必要なものは？」「森がないとどうなる？」と子どもたちに問いかけ、一緒に考えました。



どんぐりくんとふぁみたんと踊る ～森のダンス～

森の仲間たちを歌詞にして「みんなとも

だちだよー、ヤッホー！」と踊る森のダンス。リズムに合わせて、身体を大きく動かしました。ダンスのDVDは記念品として各園にプレゼントされました。



右写真)DVDの贈呈式。仁淀川町では、町のキャラクター木もっくん(ボクモックン)と土佐のちゃらおくんもお手伝いしてくれました。

園児とキャラバン隊で行う ～どんぐり蒔き～



プログラムの最後は、森のおじさんとお姉さんと一緒に「どんぐり蒔き」を行いました。どんぐりの種類や芽の出方についてのお話を聞いた後、園児がお散歩などで拾ったどんぐりを一人1つずつプランターに植えました。そして「どんぐりを大切に育てます」と元気よく宣言してプログラムは終了しました。



森の教室で植えたどんぐりは、各園で2、3年ほど育てた後に近くの森に植樹する予定です。どんぐりを育てていく体験を通して、森や自然の大切さなどを体感してほしいです。



高知県の豊かな森林と山を守り育て、次代へと引き継いでいくため、「こうち山の日（11月11日）」の制定趣旨に沿った普及啓発に取り組む活動を支援しています。令和5年度は23事業が実施され、のべ7,281人が参加しました。

大月町備長炭生産組合の取り組み

大月の製炭学習と里山への植栽活動

11月13日（月）、ウバメガシの植栽活動に、地元の小学生や高校生、関係者ら総勢66名が参加しました。この活動は平成24年度から今年で12年目となります。

はじめに、大月町銚土地区の町有林で、黒潮実感センターの神田優さんから山と海のつながりについてお話を聞きました。森林の土壤に含まれる様々な栄養分が河川を通じて運ばれ、海中の植物プランクトンが増える仕組みを説明していただき、山が海を豊かにすることを学びました。また、備長炭の原料であるウバメガシが群生する大月の山は宝の山であり、将来のために山を守り育てる大切さを教えていただきました。



次に、ウバメガシのどんぐりのお話や植え方の説明をしていただいた後、高校生たちが植穴を掘り、小学生のサポートをしながら200本の苗木を植栽しました。

昼食では、備長炭を使ったバーベキューでエネルギーをチャージし、午後は、事前

に拾っておいた約2,000個のウバメガシのどんぐりをコンテナに植える苗木づくりを行いました。



この後、参加者が一個ずつ丁寧に植えたどんぐりは大切に育てられ、苗木に成長したら山へ帰します。こうした取り組みにより山を循環させ、貴重な資源であるウバメガシを将来に残し、持続可能な産業として地域に根付かせるため、今後も植栽活動や森林環境学習に取り組んでいきます。

令和6年度こうち山の日推進事業費補助金のご案内

募集期間

1次募集は締め切りました。2次募集は6月上旬から7月上旬の予定です。確定次第、ホームページで告知します。

事業期間

交付決定日から2025年1月末まで

※募集の詳細は、当会のホームページでご確認ください。

高知県の森林環境税を活用し、高知県の豊かな森林環境について学び、体験する森林環境学習を支援しています。令和5年度は88校で6,274名の子どもたちが学習しました。

座学と体験で学ぶ「土佐町森林プロジェクト」の紹介

土佐町立土佐町小学校 6年生 27名がSDGsについて学習し、土佐町の間伐材を活用した赤ちゃん向けのおもちゃづくりを体験しました。

SDGs・森林の機能について学ぶ

土佐町企画振興課の尾崎康隆 SDGs 推進室長を講師に招き、SDGsの概要を説明した後、地域の山の現状や森林の役割などについてクイズ形式で学習し、楽しみながら知識を深めることができました。

また、森林は水を貯える働きをもつ「緑のダム」であること、「早明浦ダム」は水力発電によりクリーンエネルギーを供給していることや四国の人々の暮らしと産業を支える貴重な水資源を維持管理して



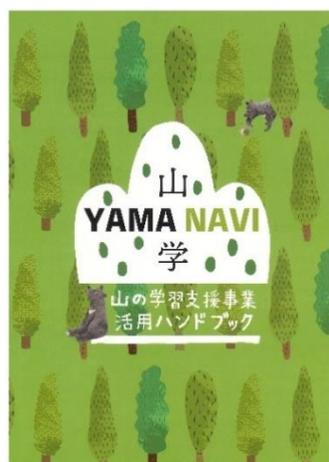
いることなどを学びました。

木のおもちゃづくり体験

土佐町小学校では、5年生で間伐体験を実施し、6年生でその間伐材を活用して作品づくりをしています。今年度は、同町で木工品づくりに取り組むフォレストの宅間宏治氏を講師に招き、1、2学期に木の特性などについて事前学習をした後、児童らがおもちゃのアイデアを出し合い、話し合った結果、「でんでん太鼓」を作成することになりました。3学期に仕上げのヤスリがけ作業をして、土佐町ロゴ入りのオリジナル作品を完成させました。



児童らの想いのこもった木のおもちゃは町内の赤ちゃんのいる家庭にプレゼントされました。



森林環境学習プログラム集

「YAMA NAVI : 山学」の紹介

「身近な自然に親しむ」、「森林の働きを知る」、「森林資源の活用」、「山・川・海のつながり」、「地球温暖化・エネルギー」に分類された30のプログラムを当会ホームページでご覧いただけます。山の学習支援事業や山の一日先生との学習、森林イベントなど、森林環境学習の企画にご活用ください！

https://www.moritomidori.com/business/yama_gakusyu_program.html

地域住民や森林所有者らが協力して行う里山林の保全、森林資源の利活用などの取り組みを支援しています。令和5年度は36団体が県内各地で活動を行いました。

高知県里山保全会(高知市)の取り組み

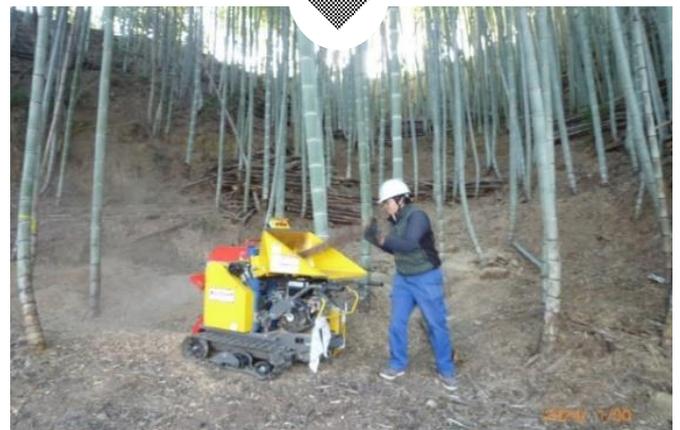
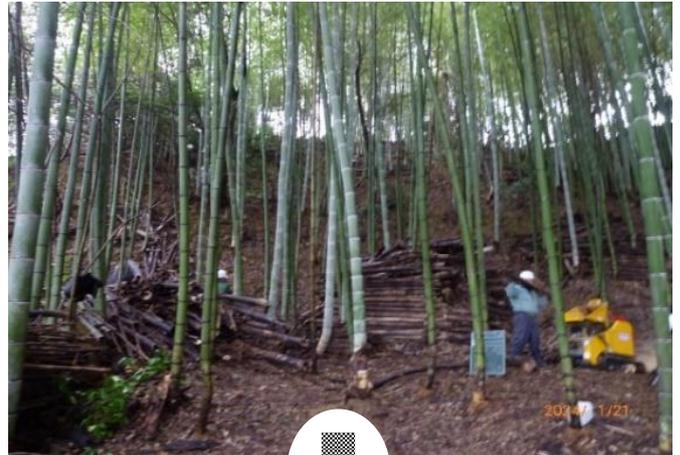
高知市内でも地域住民の高齢化や人材不足により竹林が放置され荒廃が進み、農地や植林などへの竹の侵入被害が多く見られます。これを受けて、平成30年度に高知市内の住民6名で高知県里山保全会を設立しました。施業地の住民と協議を重ねながら、竹林の景観改善やタケノコの生産など目的に沿った整備計画を立て、本交付金事業で竹林整備を実施しています。

平成30年度から令和2年度は高知市といの町内の3カ所で整備事業を実施し、令和5年度からは新たに高知市五台山地区で整備を始めました。

五台山地区では、県立牧野植物園や竹林寺を訪れる観光客らが増えたことから、景観を良くし、タケノコの生産にもつなげていきたいという声があり、本交付金事業による竹林整備が進められています。この取り組みにより住民の方々の竹林整備に対する関心も高まっています。

今後、高知県里山保全会では景観が良くなるだけでなく、地域の子どもの山遊びの場所づくりやタケノコの生産の気運

を高められるような竹林整備を進めていきたいと考えています。



写真は五台山地区の整備途中の竹林。枯竹や余分な樹木を伐採し、林内に集積したり、ウッドチップperによりチップにして撒き広げたりしています。

令和6年度森林・山村多面的機能発揮対策交付金のご案内

募集期間

1次募集は4月30日に締め切りました。2次募集を行う場合はホームページで告知します。

事業期間

採択決定日から2025年1月末まで

支援の対象

- ・3人以上で構成する活動組織であること
- ・森林経営計画の策定されていない0.1ha以上の森林であること
- ・3年間活動を行うこと

支援できる内容

【地域環境保全タイプ】里山林の景観を維持する活動や侵入竹の伐採・除去・荒廃竹林の整備活動

【森林資源利用タイプ】薪炭材やしいたけ原木などとして利用するために広葉樹等を伐採・搬出する活動

※この他に上記と組み合わせた作業道整備や鳥獣害防止柵の設置、資機材の購入・設置に対する支援もあります。



緑の募金にご協力ありがとうございました！

令和5年（令和5年1月1日～令和5年12月31日）募金額

10,094,463 円

皆さまからの募金は、地域の緑化や県内各地の森林整備等に役立てられています。

令和5年度緑の募金感謝状贈呈

毎年、一定額以上の寄付をいただいた方や募金活動に協力いただいた方に感謝状を贈呈しています。

高知県森と緑の会理事長 感謝状

- ・大成・ミタニ特定建設工事共同企業体
- ・株式会社フジ
- ・ダイドードリンコ株式会社
- ・株式会社土佐山田ショッピングセンター
- ・株式会社西森建設
- ・西岡養鰻株式会社
- ・株式会社エヌ・シー・ビー
- ・高知北ライオンズクラブ
- ・有限会社金本組
- ・株式会社津島工業
- ・株式会社サニーマート
- ・株式会社サンシャインチェーン本部

賛助会員を募集しています



皆さまからの会費は、当会の大切な活動資金となります。森づくりや緑化、木育活動の推進、次世代を担う子どもたちに緑の大切さを伝える活動にご協力、ご支援をお願いします。

【年会費】 個人 一口 3,000円から
 団体 一口10,000円から

※会員様には、年2回、森と緑の会だよりやイベント案内などをお送りさせていただきます。

※当会は特定公益増進法人に該当し、賛助会費や緑の募金は特定寄附金として税制上の優遇措置が受けられます。

春の緑の募金キャンペーン

3/1から5/31は春の緑の募金強化期間です。緑の募金にご協力をお願いします！



4/19（金）から4/21（日）に第52回みどりの週間行事を高知市中央公園で開催。たくさん子どもたちが竹とんぼづくりや木工体験をしました。また、街頭募金活動では多くの方に募金にご協力いただきました。



● 緑の募金グッズ

一定額以上の緑の募金でご希望の方にオリジナルグッズをプレゼント！

- 木製バッジ（9種類）：500円以上
- マルシェバッグ（2種類）：1,000円以上
- ランチバッグ（4種類）：1,000円以上
- 山歩き手拭い（3種類）：1,000円以上

※詳しくは、当会ホームページの「緑の募金グッズのご案内」ページをご覧ください。

公益社団法人高知県森と緑の会

〒781-8010 高知市棧橋通 6-7-43 総合保健協会合同庁舎 5階

電話番号 088-855-3905 FAX 番号 088-855-3906

E-mail : info@moritomidori.com URL : www.moritomidori.com

発行

ホームページでイベント情報などを随時お知らせします >

